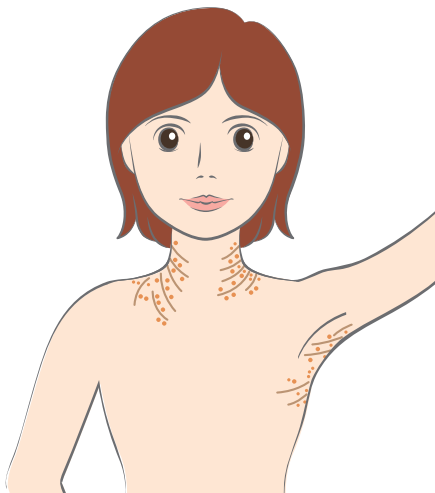


首や脇に黄色いポツポツとシワが目立ちます
弾性線維性仮性黄色腫の疑いがあります
立川皮膚科クリニック
www.tachikawa-derma.com

弾性線維性
仮性黄色腫の症状



皮膚の症状から、内科的疾患の早期発見につながる皮膚疾患があり、「弾性線維性仮性黄色腫」もそのひとつです。

この疾患について日本皮膚科学会認定皮膚科専門医で立川皮膚科クリニックの伊東秀記先生に聞きました。

「弾性線維性仮性黄色腫の症状は、首の脇やわきの下などの線状または網状につながった黄色いポツポツ(ミカンの皮やニワトリの皮のようにみえる)と、皮膚が厚くなつて溝ができ、伸びて垂れ下がるのが特徴です。治療としては伸びた皮膚の切除があります」

原因は？

「体の弾性線維の組織が壊れることにより、皮膚、眼、血管などがもろくなる病気で、先天性の遺伝性疾患です。眼の症状としては網膜の色素線条があり、網膜の裏の組織が弱くなつてひび割れたり、網膜剥離を起こして、視力が低下したり、腎臓の血管に病変があると高血圧、狭心症などを発症するケースがあります。」

この病気で大切なことは、皮膚の症状から診断を確定し、眼、心疾患を早期発見し、早期治療を開始することです。詳しくは医師と相談を」

院長:伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業、東京慈恵会医科大学皮膚科非常勤講師



休診日: 日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:30	○	○	○	○	12:30まで受け付け	○
15:00~19:30	○	○	○	○	18:30まで受け付け	17:30まで受け付け

問い合わせ
☎042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分

2016年5月28日付 「リビング多摩」に掲載されました